

# 日赤さいたま

JAPANESE RED CROSS SOCIETY SAITAMA

2020春  
VOL. 144



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

令和元年  
台風第19号災害で  
被災された  
みなさまにお見舞い  
申し上げます。

[特集]

台風第19号災害と  
埼玉県内の活動内容

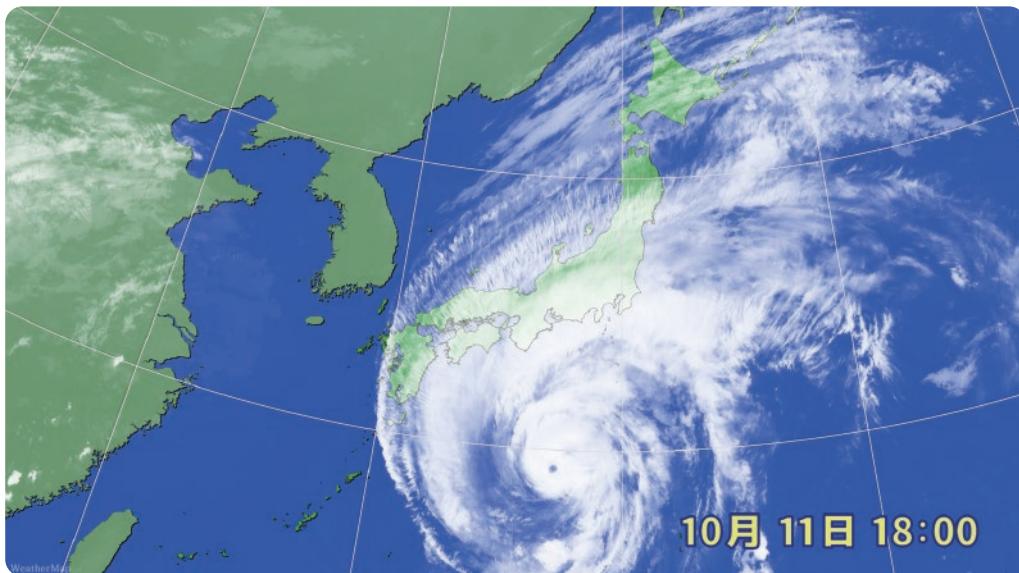
日本赤十字社  
公式マスコットキャラクター



# 台風第19号災害と 埼玉県内の活動内容

令和元年10月10日から13日にかけて日本に接近・上陸。

東日本を中心に記録的な大雨となり、各地に甚大な被害をもたらしました。



提供：株式会社ウェザーマップ

## 台風第19号災害の詳細

### 台風第19号の大きさ

中心気圧 **925** hPa      最大風速 **50** m/s      進路 北北西 **25** km/h

人的被害 12月23日 埼玉県発表資料より



死亡 4名



重症 1名



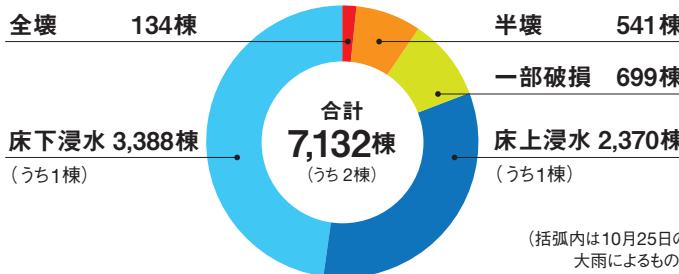
中等症 7名



軽症 25名

### 住家被害

12月23日 埼玉県発表資料より



義援金（支部受付分）

**590** 件  
**55,031,352** 円

（令和2年1月31日現在）

ご協力ありがとうございました。



日赤 寄付

検索



<https://donate.jrc.or.jp/lp/>

# 台風第19号災害での埼玉県内の活動

災害時には多くの機関が連携を図りそれぞれの役割の中で活動しています。

実際に活動した方々の体験談をご紹介いたします。

## 埼玉県庁

10月12日19時に埼玉県災害対策本部（本部長：大野知事）を設置して対応にあたりました。（12月23日閉鎖）

### 埼玉県庁 医療整備課

上陸前から県内のDMAT\*や多くの関係者と緊密な連携を図り、情報収集を行いました。上陸後は被害が大きかった坂戸保健所管内の関係者と対策会議を実施したことで、県庁では見えなかった避難者のニーズ等の詳細な状況が見えてきました。保健医療では日赤救護班が現地で与えてくれた安心感を実感しました。多くの医療関係者や関係団体の方に感謝を申し上げます。※災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム



### 埼玉県災害医療コーディネーター 田口医師 (さいたま赤十字病院)

台風上陸4日前から院内での準備、当日以降は埼玉県庁での活動をしていました。県内の被災状況の把握、他県の情報収集および共有を行うだけでなく、県内のDMAT19チームに医療機関の被災状況の把握を依頼する等、台風上陸からは夜通し活動をしていました。埼玉県では重大な医療ニーズには至りませんでしたが、荒川と利根川の水位が下がるまで予断を許さない状況でした。



## 日本赤十字社 埼玉県支部

医療救護班の派遣、救援物資の配分、義援金受付、ボランティア活動の支援などを行いました。

### 日本赤十字社 埼玉県支部 救護・講習課長 永瀬課長

台風上陸前から職員を参集させ、情報収集にあたりました。県の災対本部に派遣した職員、各病院の救護担当職員や市区町村の日赤担当者等と連絡・調整しながら、被災地域に対し救護班の派遣や、ボランティアの協力のもと救援物資の搬送を行いました。また東日本を中心に被害が広域であったため、他県支部とも毎日、Web会議を通じて活動状況を確認し合うなど、相互支援体制を取り続けました。これからも日赤のスケールメリットを最大限生かした活動に努めてまいります。



### 日赤災害医療コーディネーター 八坂医師 (さいたま赤十字病院)

埼玉県庁にて県内の避難所等の情報収集を行い、田口医師や埼玉県職員と連携を図り、情報を把握し整理したうえで日赤救護班の派遣調整や活動指示をすることが私の主な仕事でした。医療ニーズは時間とともに変化していくため、正確な情報を得る難しさを改めて実感しました。今回の災害を教訓とし、今後も様々な災害に対応できるように活動していきます。



さいたま赤十字病院 DMAT、  
深谷赤十字病院 DMAT も  
活動しました!



### 救援物資要請

### 派遣・応援要請

### 情報交換



日赤他県支部

# 被災地

河川の氾濫により、県内各地域に被害がもたらされ、多くの方が避難所生活を余儀なくされました。行政や自衛隊など関係機関が被災地で活動しました。

私たちも活動しています！



## 東松山市 危機管理課

台風上陸の4日前から府内災害対策会議を開催し、情報の共有、事前の対策について協議を行いました。台風接近時には市民に対して早めの避難を呼びかけ、避難所運営では想定を超える避難者の数に現場での混乱もありました。市として今回の災害対応では、避難情報の発信や避難所運営等において多くの課題があげられており、これらをしっかりと検証し、今後の災害対応に活かしていきたいと感じています。



## 日赤地区・分区

(各市区町村の日赤業務窓口)



避難所の  
提供等の  
支援



救援物資の  
配布

## 埼玉県赤十字救護ボランティア 新井さん

何かあった時のためにと日頃から準備を欠かさず行っていて、今回も台風上陸前には自分の身は自分で守る行動をとっていました。日赤埼玉県支部からの要請により、支部職員と共に坂戸市役所へ物資搬送を行いました。接する多くの方へ思いやりを忘れず、今後も活動を続けていきたいと思います。



救援物資の  
配達



さいたま赤十字病院の  
救護班も活動しました！

避難所アセスメント  
医療ニーズへの対応

炊き出し支援

## 小川赤十字病院 救護班班長 吉田医師

日赤埼玉県支部からの派遣要請により小川日赤救護班として出動しました。川越比企医療圏\*の情報収集を行い、東松山市では保健師と協力のうえ避難所アセスメント活動をすることになりました。正確な情報を県庁や多くの協力者と共有するためには、災害が起きる前に事前に連携と準備をしておくことが必要だと感じさせられました。※川越市、東松山など4市9町1村



## 東松山市 赤十字奉仕団 森委員長

何か人の役に立ちたいという思いから赤十字奉仕団に参加してきました。これまで訓練を重ねてきたのも今回のようないざという時に動くため。日ごろから備えていないとできないということ、そして何かあったときにはやはり人と人のつながりが大切なんだということを再確認できました。



# 日赤さいたま NEWS

## ( 令和元年度 第3回評議員会 令和2年度事業計画・予算が承認 )

令和2年2月14日（金）、令和元年度第3回評議員会を日本赤十字社埼玉県支部において開催いたしました。県内の会員から選出された評議員による会議では、県支部や赤十字病院、社会福祉施設の次年度の事業計画や予算が原案通り承認されたほか、血液センターの事業計画・予算について報告しました。評議員からは台風19号での経験を今後の活動に生かしてほしいなどの意見がありました。



1	災害救護活動のため	98,894千円
2	国際救援活動のため	3,152千円
3	救急法・幼児安全法等講習普及のため	54,185千円
4	青少年赤十字活動のため	41,227千円
5	赤十字ボランティア活動のため	27,766千円
6	救急医療活動や看護師養成のため	37,245千円
7	献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	45,842千円
8	各市区町村での赤十字活動のため	65,000千円
9	赤十字会員の加入促進や広報活動のため	114,982千円
10	業務運営管理等のため	132,439千円

支出予算額

620,732千円

## ( 2020年4月開設!! 日本赤十字社看護大学さいたま看護学部 )

令和2年4月に開設される日本赤十字看護大学さいたま看護学部は、この地で80年余りの看護教育の歴史を紡いできたさいたま赤十字看護専門学校のバトンを受け継いで新たに開設されます。人や地域と「つながり」を生み出し、看護教育に必要なコミュニケーション力を養うことのできる学習環境を目指しました。建物は、吹抜やラウンジ、廊下側に窓を設けた教室により、学生同士や教職員とのつながりを創出し、エントランスホールは地域との接点にもなります。学生がつながりを体験し豊かな学生生活を送るとともに、質の高い看護師を育成します。



開放的な雰囲気の図書館は5万冊の所蔵が可能





## 講習受講費用の支払い方法が変更になります

令和2年度より埼玉県支部が主催する全ての講習会において、受講当日の現金払いから、**口座振込での事前お支払い**に変わります。期限内にお支払いがない場合、**キャンセル扱い**になりますので、ご注意ください。

### お申込み～受講までの流れ



\*お振込みの際、ご自身の氏名の頭に支部が指定する番号を入力していただくことになります。  
お忘れのないようお願いいたします。(例) 1ニッセキタロウ



## 5月は赤十字会員増強運動月間！

日本赤十字社では赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生月であり、社を創設した5月を赤十字会員増強運動月間としています。赤十字奉仕団、町内会、自治会等の方々がご家庭を訪問させていただくことがありますので、会員への加入及び活動資金のご協力をお願いいたします。



アンリー・デュナンくん

## PRESENT プレゼント

### 「平成の災害と赤十字」展 特別図録

上皇、上皇后両陛下の被災地お見舞いの様子や日赤の活動を納めた特別図録です。

クイズ：○に入る言葉はなんでしょう。

**○月は赤十字会員増強運動月間です。**

- ①氏名 ②郵便番号 ③住所  
④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス  
⑦本紙入手場所 ⑧本紙の感想 ⑨クイズの答え

**応募締切り：2020年5月末日**

メール：info@saitama.jrc.or.jp FAX：048-834-1520

はがき：〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1

日本赤十字社埼玉県支部 日赤さいたま担当 あて

- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。
- お寄せいただいたご意見、ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部の広報活動に活用させていただく場合があります。



未来に  
活かす



クイズに正解した方の中から抽選で  
**5名様**にプレゼント

日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。

この広報紙は2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の窓口、赤十字施設、支部ホームページなどで閲覧することができます。直接発送された方の中で、今後の送付を希望しない方につきましては、大変お手数ですが下記の連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。



日本赤十字社 埼玉県支部  
Japanese Red Cross Society

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1  
Tel.048-789-7117(代表) Fax.048-834-1520

[saitama.jrc.or.jp](http://saitama.jrc.or.jp)

[facebook.com/redcrosssaitama](https://facebook.com/redcrosssaitama)



日赤 埼玉県支部 フェイスブック